

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100108
事業所名	グループホームひびきの家安城

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。 運営推進会議の案内を利用者とともに配ったり、散歩時に近隣の神社での地域の方との交流をしたりして、利用者とともに住民との交流をしている。 地域の祭り(アジサイ祭り)への参加、稚児行列などでのトイレ利用等、地域連携をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	入居者、家族、地域代表、包括支援センター、行政(安城市)等の参加により、活動報告、地域情報共有、スライドを使っでの分かりやすい説明の工夫がある。 認知症カフェへの老人会との連携、その他さまざまな案件での、意見交換、協議、要望の収集などが行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の主催する、グループホーム部会への参加、部会の会議への交流スペースの利用など行っている。 福祉祭りへの参加、運営協力、学校の体験協力、社協主催の研修会への参加、など広く行政との連携協力がされている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	推進会議での意見、要望の収集がある。 日常的な、行事参加時、面会時、「おたより」の発行等を通じ、意見要望を意識して収集し、運営に反映させている。 利用者本人の意見要望、等は、職員が、日常の会話等を通じ随時に収集し、ケアにつなげている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	○				